

## コミュニティバスしおかぜの運行ルートについて

### 1 概要

コミュニティバスしおかぜは、区内南部地域における交通不便地域の解消を図り、高齢者等の交通手段を確保するために、平成17年11月から潮見駅前を起終点として木場ルート及び辰巳ルートへ運行を開始した。

辰巳ルートの利用が低迷していたため、利用率向上を目指し、利用者アンケートの調査結果等を踏まえ、令和6年4月から豊洲ルートを加える実証運行を開始した。

豊洲ルートについて、1年間の実証運行では、豊洲ルートの本格運行への移行等について判断するための明確な結果が得られなかったため、令和7年度も実証運行を継続し、「利用者増に向けた周知」及び「しおかぜを利用しない人の意見を分析」した上で、「上半期の利用実績」と「利用者アンケート結果等」を踏まえ、今後の対応について検討した。

### 2 検討状況

令和7年度の上半期の利用実績及び利用者アンケート結果等より、利用者の約7割が「豊洲ルートの継続」の要望をしており、「豊洲ルート」については、しおかぜの利用率向上に一定の効果が確認されたことから運行を継続する。

一方、「辰巳ルート」については、辰巳ルートの利用率が著しく低いことから、辰巳地域に適した運行手法についても検討し、地域公共交通としてのコミュニティバスしおかぜのあり方を検討していく。

### 3 今後のスケジュール（予定）

令和8年	1月28日	第1回江東区地域公共交通推進協議会
	3月	区議会所管委員会報告
	8月	第2回江東区地域公共交通推進協議会
令和9年	1月	第3回江東区地域公共交通推進協議会
	3月	区議会所管委員会報告